

シメツ、アリシ折柄俄然十月二日一名ノ「コレラ」患者ヲ市内ニ發生シタルヲ以テ更ニ之ニ對スル防疫計劃ヲ立テ極力防遏ニ努ムル所アリシカ幸ニ續發スルコトナクシテ終熄シタリ當府ニ於ケル防疫狀況以下記載スル所左ノ如シ

既往六箇年間傳染病患者發生數比較表

年	コレラ	痢疾	赤痢	傷寒	瘧疾	梅毒	淋病	皮膚病	性病	計
大正十二年	三	七二二	二〇八〇	二九四	二三五	一〇三	五八八	九三	四一〇八	
同十三年		七一三	三三一四	四五〇	二一	一〇二	六〇〇	八七	五二八六	
同十四年	五三	七九六	二二六六	三三二	五六	一一七	九二三	八三	四六一六	
同十五年		一三三九	二二四二	二七七	二九	二二二	九六五	九八	五一六二	
昭和二年	一	一五八二	二二三七	二四六	三	二四六	一一二二	七七	五六〇七	
同三年	一	一八三一	二八〇五	二四九	四八	三六七	一二五六	六〇	六六一七	
計										

本表ハ各年共一月一日ヨリ十一月三十日迄ノ事實ヲ登載ス

一、檢病調査

(イ)警察官吏ノ調査檢病調査ノ施行ハ傳染病流行ノ時期ハ勿論其季節ニアラサルモ既ニ一地域ニ於テ患者發生シ流行ノ兆アルトキ其他豫防上必要ト認ムル時期ニ於テ警察署長ハ檢病調査ヲ施行シ主トシテ低級部落勞働者木賃宿及流行ノ地域竝必要ト認ムル地域ニ對シテ之ヲ行ヒ以テ患者ヲ檢索的發見ニ努メツ、アリ本年ニ於テハ一月ヨリ之ヲ施行シ御大禮期日近ツクニ從ヒ更ニ通達シテ徹底的調査ヲ反覆セシムル外京都府ニ接近セル地域ヲ首メ前年著シク發生シタル地域竝流行ノ虞アル場所ニ對シテハ一層之カ周密ヲ期セシカ之カ爲ニ傳染病患者ヲ發見スルコト十二名ニ及ヒタリ其成績左表ノ如シ

檢病的戸口調査成績表(昭和三年自一月至十月)

施行區域	調査		發見患者數		從事員數
	戸數	人口	普通	計	
三十八署管内一四一、四八六、〇二八七、八〇二、五二二			一九、三四六	一六八一九、五一四	一〇
					一
					一一
					一二
					五九、二六九

(ロ)醫師會健康診斷大阪府醫師會ニ於テハ御大禮ニ對スル奉仕トシテ九月廿五日ヨリ十月廿四日ニ至ル間會員タル醫師二百二十七名ヲ動員シ巡查一名同行シテ大阪市内四十八萬餘世帯ノ居住民ニ對シ健康診斷ヲ行ヒ傳染病患者ノ早期發見ニ努メンコトヲ提議シタルヲ以テ當府ハ之ヲ以テ有益ナル企圖トナシ九月十五日市内各署長ニ通達シ左記ノ方法ニ依リ之ヲ實施セシメタリシカ之カ爲ニ傳染病患者六名注意患者六十五ヲ發見スルヲ得タリ大阪府醫師會這個ノ企圖ハ傳染病豫防上有力ナル援助ニシテ而カモ從事員タル醫師ハ自己ノ業務ヲ抛チテ之ニ從事シ其計劃ノ遂行ニ努メタルハ多トスヘク之ニ對シ知事ヨリ各從事員ニ謝狀ヲ發送シタリ

- 一、檢病調査及健康診斷ハ戸口調査規程ノ趣旨ニ依リ任意承諾ノ下ニ之ヲ行フコト
- 二、前項ノ調査及診斷ハ家人ノ全部ニ對シ之ヲ行ヒ若家人中不在者アル場合ハ其事由ヲ明瞭ナラシメ以テ患者隱蔽ノ弊ヲ防止スルハ勿論其他最善ノ方法ニ依リ傳染病患者ノ早期發見ニ努ムルコト
- 三、前項調査及診斷ノ結果傳染病ノ疑アル患死者ヲ發見シタルトキハ主治醫ニ於テ決定セシメ主治醫ナキカ又ハ主治醫ニ於テ決定シ難キ場合ハ其署長ニ報告セシメ其署部内防疫擔當醫師ヲシテ檢診セシムルコト
- 四、檢病調査ノ結果ハ當部衛生課宛毎日電話ヲ以テ報告スルコト

以上ノ方法ニ依リ行ヒタル檢病調査及健康診斷ノ成績ハ左表ノ如シ

檢病的戸口調査成績(昭和三年自九月二十五日至十一月四日)

調査戸數	調査人員	發見患者數		從事者	
		注意	普通	巡査	醫師
四三七、三五四	一、七九六、六二二	六五八、〇二五	八、〇九〇	四	一
				六	四、五九一
					四、六二〇

二、検診

検診ハ平素之ヲ續行スル所ナルカ主トシテ警察官吏ノ戸口調査上發見シタル容疑患者及主治醫ヨリ検診ヲ求メタル患者ニ對シ之ヲ行フト共ニ患者家族又ハ患者附近ニ於ケル必要ト認ムル住民ニ對シ檢診ヲ行フニ在リ之カ爲ニ大阪市内ニ在リテハ船場、新町、島ノ内、曾根崎、福島、中津、九條、市岡、難波、天王寺、鶴橋、今宮ノ十二箇署ニ檢診醫員ヲ配置シム全市内ニ於ケル前記患者其他ヲ檢診セシメ堺市ニハ一名ヲ配置シテ同市及泉南、泉北、南河内郡ニ於ケル者ヲ檢診セシメル外御大禮ニ關シ六月廿六日更ニ今福、阿部野、平野、十三橋、柴島、大和田ノ六箇署ノ外京都府接續ノ地域タル枚方、高槻ニ各一名ヲ配置シテ大阪市内ト同様ノ檢診ヲ行ハシメタリ之ニ依リテ發見シタル傳染病患者ハ一四六名ニシテ其成績表左ノ如シ

検診成績 昭和三年自四月至十一月毎月施行

検診ヲ行ヒタル戸數	發見傳染病患者數	檢診ニ依リ發見シタル傳染病											
		コレラ痘	疥癬チフス	バラチフス	猩紅熱赤痢	流行性腸チフス	計						
一、七〇九	四、二一八	一四六	一	三三	七九	一	六	一一	九	五	一	一四六	一、〇六〇

三、死體檢案

死體檢案ハ明治三十二年ベスト發生ノ當時ヨリ斷續トシテ今日ニ及ヘリ檢案醫ノ配置ハ前項ト同様ニシテ檢診ノ外死體檢案ヲ行ハシム而シテ本年六月以後右檢診醫ニ對シ患者其他病汚染ノ疑アル物件ニ對スル消毒施行ノ監督、病源體保有者ノ取締、自宅療養患者ノ取締、患者發生場所及其附近ノ健康診斷ノ施行、傳染系統ノ調査、豫防注射施行ノ狀況視察等ヲ擔當セシムルコト、爲シタリ而シテ死體檢案ノ爲發見シタル傳染病患者ハ百二十五名ナリ其成績左表ノ如シ

死體檢案成績(内ハ發見傳染病患者數)

月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	計	發見傳染病患者數	發見傳染病々類別
病者數	1	1	1	1	1	1	1	1	8	8	流行性腸チフス
赤痢	1	1	1	1	1	1	1	1	8	8	赤痢
疥癬	1	1	1	1	1	1	1	1	8	8	疥癬
チフス	1	1	1	1	1	1	1	1	8	8	チフス
コレラ	1	1	1	1	1	1	1	1	8	8	コレラ
計	1	1	1	1	1	1	1	1	8	8	計

一九九	一九二	二二六	三九二	三五三	三三三	三〇三	二一九	二、三三三	二二五	二	一六	九四	一〇	三
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-----	---	----	----	----	---

四、細菌檢査

一般細菌檢査、寄生蟲檢査及ワクチン製造ニ從事スル爲技術員十一名ヲ以テ之ニ當ラシム而シテ御大禮ニ關シテハ納品關係者大阪市堺市ノ特種營業者及公私設食品市場從業者並京都府隣接地域内特種營業者ノ檢便ヲ施行セシカ共檢査數十八萬九千五百餘件ニ上リ保菌者三十七件ヲ發見シタリ詳細ハ左表ノ如シ

ワクチン製造	自四月至十月	毎月施行	狂犬病豫防ワクチン	計
腸チフスワクチン	「コレラ」ワクチン	一五九、〇〇〇	三〇、四五六	五二七、二二六

細菌檢査成績

種別	細菌檢査數	發見シタル保菌者	
		腸チフス	赤痢
御大禮關係者檢便	五〇六	一	三
腸チフス保菌者檢便	一八、八五一	一九	三
特種營業者檢便	一四九、二〇六	一六	一
公私設市場從業者檢便	二八、一七六	三	九
京都府隣接地域居住者檢便	一一、六八六	一	一
捕鼠細菌檢査	一五二、八一二	一	一
計	三六一、二三七	三八	六
			一二
			五六

昭和三年 自四月至十一月 赤痢 帶菌者檢査成績表

御大禮關係採便成績表(自十一月二十五日 至十二月二十五日)

第一回	第二回	陽チフス	的見シタル	保菌者
四四八	五八	一	バラチフス	赤痢
				計
				三

御大禮關係者檢診及採便成績種別表

御所出入者關係	檢診人員	採便人員		發見シタル保菌者
		第一回	第二回	
製備材料納入者關係	一七	一五		計
地方賜價關係	一八六	一七七	一〇	一
献上品關係	一六八	一六八	四八	二
他府縣ヨリ依頼ニ依ル地方賜價關係	五九	二七		二
御警衛巡查	二〇	二〇		二
計	二九	四一		二
(ロ)豫防注射	四七九	四四八	五八	三
				三

腸「チフス」豫防ニ關シテハ前記ノ如ク保菌者ノ檢索ニ努ムル外腸「チフス」ワクチンヲ當廳細菌室ニ於テ製造シ之ヲ市町村又ハ衛生組合ニ無償交付シ市町村醫又ハ囑託醫ヲシテ注射ヲ施行セシメタリ其ノ注射ヲ受ケタルモノ十六萬九千二百二十五名ナリ

ハ「コレラ」豫防

六月中旬上海ニ「コレラ」發生ノ通報アリ注意警戒ヲ怠ラサリシカ八月七日衛生局長ノ通牒ニ基キ注射班十班ヲ組織シ大阪市堺市内ノ河川ニ碇泊シ又ハ航行スル水上生活者ニ對シ同月十三日ヨリ左記計畫ノ下ニ豫防注射ヲ施行シ之ヲ續行中九月二十五日神戸ニ入港シタル英船「グレンナップ」號乗組員ニ疑似「コレラ」發生シタル旨ノ通報ニ接シタルヲ以テ九月二

十八日更ニ前記豫防注射ノ外阪神間往復ノ船舶乗組員ニ對シ檢病調査ヲ施行スルコト、ナシタリ

水上生活者ニ對スル「コレラ」豫防計劃

豫防注射ノ範圍

- (一)汽船乗組員
- (二)帆船其ノ他ノ船舶乗組員及舢舨船夫
- (三)沖仲仕
- (四)沖行商

施行ノ方法

- (一)ニ對シテハ汽船會社ヲ勸誘シ水上警察署長監督ノ下ニ施行セシム但シ注射液ハ要求ニ依リ無償交付ス
- (二)(三)(四)ニ對シテハ醫員看護婦事務員ヲ水上警察署ニ配置シ署長ヲシテ之ヲ施行セシム

注射班ノ編成

醫員事務員看護婦及巡查各一人ヲ以テ一班ト爲シタルモノ十班ヲ編成シ港水上署ニ四班ヲ安治川水上署ニ四班木津川水上署ニ二班ヲ配置シ小廻船ニ分乘巡回セシム

注射人員

水上生活者約八萬人トシ一班一日ノ注射人員ヲ平均百三十人トシ二箇月間ニ終了ノ豫定

掣港ニ在ル船舶ニ對シテハ以上ノ注射班ヲ隨時派遣シテ施行ス

實施ノ狀況

以上ノ計劃ニ基キ水上署ニ於テハ各配置セラレタル班ニ依リテ八月十八日ヨリ豫防注射ヲ實施スル外巡查十二名乃至二十五名ヲ以テ檢病調査ヲ施行シ一面屎尿吐瀉物放流取締ノ爲非番巡查ヲ以テ之ニ當ラシメ又一面豫防注射宣傳ノ爲夜間路傍演說ヲ試ムル等其活動見ルヘキモノアリ而シテ豫防注射ハ之ヲ十一月二十日迄ニ繼續施行セシカ其成績ハ殆ント豫定ニ達

シタルト上海地方ニ於ケル「コレラ」ハ漸次終熄ノ期ニ近ツキタルヲ以テ十一月二十日限り之ヲ廢止シタリ以上ニ依リ施行シタル豫防注射ノ成績ハ左表ノ如シ

昭和三年八月十三日「コレラ」豫防注射施行成績表

陸上	施行團體名	回数	注射人員	備	水						
					署別	回数	船	數	注射人員	備	
大阪市	一回	一回	一、二、一、三〇〇		大阪港水上	二一	一回		四、七、七、七〇	八、月、十三、日、ヨリ	二、四、一、班
					安治川水上	二一	一回		三、五、〇、〇、一	八、月、十三、日、ヨリ	二、四、一、班
					木津川水上	二一	一回		一、一、五、七、九	八、月、十三、日、ヨリ	二、四、一、班
					堤岸和出所	二一	一回		一、四、六、七	八、月、十三、日、ヨリ	二、四、一、班
					計	二一	一回		一、四、七、〇、二	八、月、十三、日、ヨリ	二、四、一、班
					自衛的	二一	一回		六、九、七	八、月、十三、日、ヨリ	二、四、一、班
					合計	二一	一回		一、四、七、九、九	八、月、十三、日、ヨリ	二、四、一、班
					大阪市	二一	一回		一、五、五、六、〇〇	八、月、十三、日、ヨリ	二、四、一、班

「コレラ」發生

前記ノ計劃ニ依リ豫防事業其緒ニ就キ着々實績ヲ擧ケツ、アリシカ俄然十月二日ニ至リ大阪市港區三軒家樋町一丁目一番地ノ一某六十四年ハ疑似「コレラ」ト決定三日死亡四日眞正ト決定セシカ此事タル眞トニ卒然ニシテ當局ノ心膽ヲ寒カラシメタリ同人ハ當府警察部衛生課細菌室小使ニシテ主トシテ「コレラ」豫防注射液製造作業ノ雜役ニ從事シ居タルモノニ

シテ九月三十日宿直ヲ爲シ引續キ翌十月一日午後五時迄勤務シ帰宅後八時頃寢ニ就キシカ十二時頃ヨリ腹部ニ異和ヲ感シ翌朝ニ至ル間ニ於テ下痢十數回嘔吐二三回アリ依テ附近醫師ノ往診ヲ求メタルニ「コレラ」ノ疑アル旨届出テタリ此報告ニ接スルヤ急遽防疫醫ヲ派遣シ検査材料ヲ採取シ之ヲ細菌検査ニ付シタルニ二日午後八時「コレラ」疑似症ト決定セリ其感染ノ徑路ハ前記ノ如ク細菌室小使勤務中「コレラ」豫防注射液製造ノ業務ニ從事シ居タル者ナルヲ以テ之ニ依リ感染シタルモノナルコトハ何等疑フノ餘地ナシ

豫防措置「コレラ」ノ疑アル旨届出ニ接スルヤ所轄警察署ハ直ニ巡查ヲ派遣シ患家ノ假交通遮斷ヲ行ヒ決定ト同時ニ患者ハ大阪市立桃山病院ニ收容スルト共ニ交通關係者八名ヲ大阪市立隔離所ニ隔離シ患家ノ消毒ヲ施行シタリ(患家附近ハ倉庫)而シテ患家ハ尻無川沿岸ニ在リテ該川ニ患者ノ吐瀉物ヲ投棄シ且汚物ノ附着セル布片ノ洗濯水ヲ放流シタル事實アルヲ以テ直ニ左記ノ範圍内ニ於ケル河海水ノ使用及漁撈游泳ヲ停止スル府令ヲ公布シ同時ニ關係警察署長ニ通達シテ嚴重取締ヲ施行セシメ一面ニハ既設豫防注射班十班ヲ尻無川及其附近ニ集中シテ河川内ニ碇泊セル船舶乗組員ニ對シテ夜ヲ撤シテ豫防注射ヲ施行セシカ其船數二千七百六十三人員八千四十一人ニ達シタリ之ト同時ニ水上生活者並附近河岸地居住者ニ對シテ檢病調査ヲ施行シ且之ヲ續行スルコト、セリ而シテ沿岸及患家附近ノ居住者ニ對シテハ大阪市ト協商シテ豫防注射ヲ行ハシメタルカ共人員一萬七千六百九十人ニ及ヒタリ

大阪府令第五十九號

「コレラ」豫防ノ爲傳染病豫防法第十九條ノ規定ニ依リ當分ノ間左記場所ニ於テ漁撈游泳ヲ爲シ又ハ其水ヲ使用スルコトヲ停止ス

本令ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和三年十月三日

記

- 一、大阪港(内港並築港防波堤外三十間以内)
- 一、安治川
- 一、木津川
- 一、尻無川
- 一、安治川、木津川間ノ各河川並運河
- 一、六軒屋川(剛門下流)及安治川ニ通スル河川
- 一、大川(天満橋下流)
- 一、堂島川(堂島堀割ヲ含ム)
- 一、土佐堀川(中ノ島堀割ヲ含ム)
- 一、東横堀川
- 一、西横堀川
- 一、道頓堀川
- 一、堀江川
- 一、長堀川
- 一、立賣堀川
- 一、薩摩堀川
- 一、阿波堀川
- 一、海部堀川
- 一、京町堀川
- 一、江戸堀川

一、百間堀川

一、堀川

一、高津入堀川

一、新川

一、鮎川

右府令公布ト同時ニ前記河川及其沿岸ヲ管轄スル各警察署長ニ對シ府令公布ニ至リタル事情並漁撈游泳及海水ノ使用停止ノミナラス右區域内ニ於テハ釣魚ノ餌トナルヘキ蟲類ノ採取ヲモ停止セラル、旨並該停止處分ノ爲水上生活者ハ最も苦痛ヲ感スル所ナルヘシト雖豫防上止ムヲ得サルニ出ラタルモノナレバ水陸兩署長協力シ該府令ノ勵行ニ努ムルト共ニ水上生活者並沿岸居住者ニ對シ周密ナル檢病調査ヲ施行シ豫防上遺漏ナキヲ期スヘキ旨警察部長ヨリ通達シテ之ヲ鞭撻シタリ

各警察署長活動狀況

大阪港水上警察署十月三日ヨリ九日ニ至ル七日間尻無川各巡查派出所ハ晝間見張ヲ廢シ全部巡回勤務ニ變更ノ上河水使用取締及檢病調査ニ從事セシメ更ニ別働隊ヲ編成シテ尻無川及大阪港内ノ檢病調査並河海水使用ノ取締ニ從事セシムル外宣傳部隊ヲ編成シテ尻無川沿線船舶乗組員ニ對シ河水使用防止宣傳ヲ爲シ又各所ニ散在セル豫防注射班ハ全部之ヲ尻無川ニ集中シ同川ヲ中心トシテ豫防注射ノ事ニ方リ署長以下總動員シテ之カ實施ニ努メタリ

水津川水上警察署「コレラ」發生スルヤ糞ニ水上各署ニ配置セラレタル豫防注射班十班ヲ當署ニ集中シ岩崎運河及尻無川ヲ中心トシテ十月二日一齊ニ豫防注射ヲ施行スル外探便班十班ヲ以テ此方面ニ於ケル探便ヲ勵行シ別ニ宣傳隊ヲ組織シ河海水使用停止ノ宣傳ニ努メ無料給水栓増設ニ依リ之カ使用ヲ獎勵スル爲印刷物二千枚ヲ配布シ一面ニハ從來ノ檢病調査ヲシテ特ニ徹底セシムル爲別ニ調査隊ヲ組織シテ之ニ方ラシメ十月三日ヨリ十日ニ至ル間大ニ努ムル所アリタリ

安治川水上警察署「コレラ」發生ノ報ニ接スルヤ衛生專務員及防疫職員ヲシテ部内各種船舶乗組員ニ對シ豫防ニ關スル巡

回講演ヲ試ムルト共ニ檢病調査ヲ施行シ豫防期間中之ヲ反覆シ一面河海水使用ヲ停止セラル、ヤ一般巡回調査ヲシテ二日ニ涉リ船舶乗組員ニ對シテ周知ノ方法ヲ講スルト共ニ違反者ノ取締ヲ勵行シタリ

河川海沿岸管轄警察署 尻無川沿岸ヲ管轄スル警察署及堺警察署ニ於テハ特種營業者ニ對シ消毒藥ヲ裝置セシメタルモノ及豫防注射ヲ施行シ其人員二萬九千三百三十人ニ達シタリ

防疫措置以上ノ如クニシテ幸ニ效ヲ奏シ前記患者一名ノ外後續患者ヲ見サリシヲ以テ十月十六日大阪府令第六十二號ヲ以テ前記府令第五十九號ヲ廢止シ各關係ノ豫防措置ヲ徹廢シタリ

ニ、痘疹豫防

大正二年以來福岡大分兩縣下ニ痘疹發生シ本年ニ入り益猖獗スルノミナラス東京、愛媛、福島ノ各府縣下ニ於テモ患者ノ發生ヲ見ルノ狀況ナルヲ以テ當府三月二十六日各市町村長ニ對シ注意警戒ヲ促カスト共ニ種痘期ニ在ルモノニ對シ急速之ヲ施行シ懈怠者ヲ嚴密調査漏ナク種痘ヲ施行スヘキ旨ヲ通牒シ警察署長ニ對シテハ之ニ協力スヘキ旨ヲ通達シテ警戒スル所アリシカ四月九日ニ至リ俄然港區鶴町四丁目一名ノ痘疹患者ヲ發生シタルヲ初メトシ同月十四日迄ニ同區壽町一、二、三丁目内ニ九名其他同區内ニ六名東淀川區ニ一名東成區ニ一名合計十八名ノ發生ヲ見タリシモ之カ系統ハ漠然トシテ捕捉スヘカラス爰ニ於テ當府ハ同月十四日左記告諭第一號ヲ以テ本年秋季京都ニ於テ行ハセラル、曠古ノ御大禮ニ際シ當府下ニ於ケル本病ノ流行ニ依リ病毒ヲ京都府ニ移入スルカ如キコトアランカ寔ニ由々敷大事ナレハ此際各自ハ年齡ノ如何ヲ問ハス進テ速ニ種痘ヲ受ケ豫防ノ事ニ努ムヘキ旨ヲ警告シ一面訓令第七號ヲ以テ警察署長、市長、區長、町村長ニ對シ告諭ノ趣旨徹底ニ努メ且衛生組合其他各種ノ公私團體工場等ヲ督勵シテ種痘ノ普及ヲ圖ルヘキ旨ヲ訓令シタル外府醫師會ニ對シテハ會員ノ援助ニ待チ種痘ノ普及ヲ圖リ以テ豫防ノ實ヲ擧ケンコトヲ依頼シ更ニ警察署長ニ對シ一般ニ急速種痘ノ普及ニ努メ就中客ノ來集ヲ目的トスル營業者及合宿所、寄宿舎、貸夜具、貸本、古着其他之ニ類スル職業、洗濯屋、洗屋及其從業者、藝娼妓其他接客業者、鍼灸按摩術營業及其徒弟電車自動車乘務員肩物營業者及其從業者工場職工等ニ對シテハ直ニ種痘ヲ施行スヘキ旨ヲ通達シタリ而シテ一面所轄警察署ハ發生地ニ在リテハ患家ヲ中心トシテ附近住民ニ對シ臨

時種痘ヲ施行シ尙常非番巡查又ハ防疫監吏ヨリ成ル調査班ヲ組織シテ部内全部ニ涉リ檢病調査ヲ反覆施行シ就中朝鮮人、支邦人、木賃宿泊人貧民部落居住者、肩物取扱業者及其附近ノ居住者ニ對スル檢病調査ハ一層周密ニ之ヲ施行シ特ニ朝鮮人ニ對シテハ醫師及巡查ヨリ成ル種痘班ヲ以テ各戸ニ就キ全部接種シ其他ノ不健康地ト目サル、地帯ニ對シテハ大阪市及其方面ノ衛生組合ヲシテ臨時種痘ヲ行ハシメ一面豫防宣傳ポスターヲ電車内、巡查派出所、浴場、理髮店其他民衆ノ見易キ場所ニ揭示シ又ハ衛生組合ト協力シテ宣傳ビラヲ配布シ更ニ部員ヲ派遣シテ其實況ヲ視察セシメテ督勵スル所アリシカ六月二十三日港區ニ於ケル發生ヲ最終トシテ終熄シタリ此間患者四十八名内死亡七名ヲ出シ港區ニ於ケル三十二名ヲ最多トシ大阪市内ハ浪速區及西淀川區ヲ除キ各區ニ一名乃至三名ヲ出シタル外泉北郡ニ一名ノ患者ヲ見タリ其豫防措置ニ關スル成績左表ノ如シ

種痘施行人員 一、二、三、七、五、六、七人 内 大阪市 九八八、三二一人 郡 部 二四九、二四六人

痘疹豫防ニ關スル檢病的戸口調査成績表

戸	數	人	口	普	通	病	患	注	意	者
水	上	三八九、〇二一	四、〇六〇、二六三	一五、三九〇	四〇一	一五、七九				
		八八四、一八七								

大阪府告諭第一號 昭和三年四月十四日

福岡及大分縣下ニ於テハ昨年以來引續キ痘疹患者發生シ本年一月上旬以後更ニ山口、東京、静岡、岡山、高知、熊本、佐賀、宮崎、福島、愛媛、石川、富山、愛知等ノ各府縣下ニ散發シ今ヤ全國的ノ流行ヲ見ントスル趨勢ニ在リ交通至便ノ當府下ハ何時該病毒ノ侵襲ヲ蒙ルヤモ難計ヲ以テ疾ニ種痘ノ普及ヲ圖リ一面檢病的戸口調査及死體檢案ヲ勵行シ以テ患者ノ早期發見ニ努ムル等銳意豫防警戒中ノ慮不幸ニシテ病毒ハ大阪市内ヲ侵シ突如本月九日港區鶴町四丁目ニ於テ一名ノ患者ヲ發見シ相次テ同區壽町一、二丁目桂町一丁目及東淀川區南濱町ニ一時二十一名ノ患者發生尙續發ノ傾向ニ在リ萬一往

年流行ノ轍ヲ踏ムカ如キコトアランカ慘禍ノ及フ所測リ知ルヘカラサルノミナラス殊ニ本年秋季京都ニ於テハ曠古ノ御大
 禮ヲ舉行セラルルヲ以テ當府下ニ於テ本病ノ大流行ヲ見其病毒ヲ京都府下ニ移出スルカ如キコトアランカ寔ニ由々敷大事
 ニシテ轉蹙心ニ堪ヘサル所ナルヲ以テ患者ノ發生地附近ハ勿論本病豫防上必要ト認ムル地域ニ對シ急遽臨時種痘ヲ施行セ
 シメツアリト雖府下一般ニ警戒ノ要アリト認メラルルヲ以テ此ノ際各自ハ年齡ノ如何ヲ問ハス進ンテ速ニ本病唯一ノ豫
 防方法タル種痘ヲ受ケ以テ不測ノ禍害ヲ免レンコトニ努メラルヘシ

其他雜件

(イ) 蠅ノ驅除ヲ施行シタル戸數

四五三八戸

(ロ) 傳染病院、隔離病舎及公私立病院傳染病室

視察度數 注意ヲ與ヘタル件數

一三二四 一九二件

(ハ) 行旅病人中傳染病患者ヲ發見シタル人員

一六人

ホ、「ベスト」豫防

「ベスト」豫防上一日モ缺クヘカラサル事業ハ鼠族ノ驅除ニ在リ大阪府ニ於テハ明治三十二年以來市内ノ捕鼠買收ヲ繼續
 シ其數二千二百萬頭ニ上リ之ニ支出シタル金額ハ百數十萬圓ヲ算スルニ至リシカ市ハ昭和三年四月一日以後之カ買收ヲ廢
 止シ左ノ計畫ニ依リ捕鼠作業ヲ行ハンコトヲ申出テタルヲ以テ當府ハ市内居住者ノ自營的捕鼠ヲ買收センヨリハ寧ロ豫防
 上必要ト認ムル地域ニ對シ捕鼠器又ハ殺鼠劑ニ依ル除鼠ヲ行フヲ以テ勝ルニ如カスト爲シ之ヲ承認實行セシムルコト、セ
 リ

本年度計劃概要

一、鼠投棄函ノ設置

一年ヲ通シ警戒ヲ要スル方面ニ鼠投棄函ヲ置キ毎日之ヲ蒐集ス

二、捕鼠隊ノ活動

既往ニ於ケル「ベスト」流行季節ニ鑑ミ毎年十月、十一月、三月、四月、五月ノ五ヶ月間捕鼠隊約七班ヲ編成シ危險地

區ノ強制捕鼠ヲ行フ

三、殺鼠劑配布及探鼠

毎年十二月、一月、二月ノ三箇月間前二號ノ地區ニ約七班ヲ以テ殺鼠劑ヲ配布シ鼠族ノ驅除ヲ行フ

四、如上ノ方法ニ依リ獲タル鼠ハ凡テ府衛生課細菌室ニ送付ス

第一項ノ鼠族投棄函設置ノ場所左ノ通ニシテ當分ニ設置シ毎日一回又ハ二回蒐集スルコト

以上ノ方法ニ依リ四月十四日作業ヲ開始シタリ

第 一 區 域	投棄區域名	投棄函設置場所	位 置	所 轄 署 別
1	桃園衛生組合	南區西賑町	高津署	別
2	地藏坂巡查派出所	南區瓦屋町三番丁	同上	署
3	高津聯合衛生組合	南區高津四番丁	高津署	外二署
4	下寺町四丁目巡查派出所裏手	天王寺區下寺町四丁目	戎原署	署
5	難波西部衛生組合	浪速區櫻川町二丁目	芦原署	署
6	櫻川一丁目巡查派出所	浪速區櫻川町一丁目	難波署	署
7	日吉衛生組合	西區南堀江下通一丁目	新町署	署
第 二 區 域				
1	本田衛生組合	西區本田町三番丁	川口署	署
2	九條聯合衛生組合	港區九條通三丁目九條會館内	九條署	署
3	三軒家衛生組合	港區大正通五丁目	泉尾署	署
4	市岡衛生組合	港區魁町一丁目	市岡署	署
5	朝潮衛生組合	港區八幡屋元町一丁目	築港署	署
6	三條通三丁目巡查派出所	港區三條通三丁目	同	署
7	築港埠頭巡查派出所	港區北海岸通	同	署

8	築港天保山衛生組合	港區二條通二丁目	同
1	櫻島巡查派出所	此花區櫻島町	朝日橋署
2	千鳥橋南詰	此花區四貫島町大通二丁目	同
3	下福島二丁目巡查派出所	此花區下福島船津橋北詰	福島署
4	北野衛生組合	北區高垣町	會根崎署
5	瀧川衛生組合	北區龍田町	天滿署

其後増設シタル箇所ハ二十九ヶ所ナリ

第二項第三項ニ依ル除鼠作業計劃ハ左ノ如クニシテ各班ニハ巡查一名ヲ付シテ五月一日ヨリ之ヲ施行スル旨築港、朝日橋市岡、九條、川口、泉尾、芦原、難波、會根崎、天滿、高津、戎、島ノ内、福島、新町、天王寺、玉造ノ各署ニ四月三十日付ヲ以テ通達シタリ

除鼠作業

- 一、除鼠班七班但シ五月七日以後ニ班ヲ築港署ニ配置シ當分巡回ニ除鼠ヲ行フ 一班ノ組織ハ市吏員一人人夫一人
- 二、施行地域
 - (イ)、海外「ベスト」流行地ト關係ヲ有スル船舶ノ着陸地及河川沿岸地帯
 - (ロ)、米棉ヲ收藏スル倉庫地帯及其附近
 - (ハ)、紡績工場及停車場地帯及其附近
 - (ニ)、最近「ベスト」患者又ハ有菌鼠發生地域
- 三、作業方法
 - (イ)、捕鼠班ハ前項地帯ノ倉庫及住家ニ對シ一器乃至三器ノ捕鼠器ヲ配置スルモノニシテ一班一日ノ受持ヲ百戸(倉庫ヲ含ム)内外トス

- (ロ)、殺鼠班ハ前項ノ地域ニ在ル住家倉庫ニ對シ十粒内外ノ殺鼠劑ヲ配布スルモノニシテ一班一日ノ受持ヲ百五十戸(倉庫ヲ含ム)トス
 - (ハ)、殺鼠劑配布後捕鼠作業ノ傍探鼠ヲ行フ
- 「ベスト」豫防計劃

- 一、除鼠區域
 - (一)、沿岸地帯
 - 外國航路船舶ノ岸壁ニ緊留シ得ル地帯(天保運河兩岸及其以西並櫻島驛前運河以西)
 - (二)、隣接地域
 - 沿岸地帯ニ隣接セル地域(沿岸地帯ヲ除キタル築港署管内全部及松ヶ鼻渡ヨリ北港大橋ニ至ル線ヨリ以西)
 - (三)、第一次倉庫地域
 - 外國貨物中穀類、穀粉類、豆粕、有機性肥料等鼠ノ食料タリ得ヘキ物件及棉花類ヲ外國航路ノ船舶ヨリ沖荷役シテ第一次ニ收藏スル倉庫及其附近ノ住家

- 二、除鼠方法
 - (イ)、沿岸地帯
 - 倉庫ニ對シテハ一ヶ月二回殺鼠劑ヲ配布ス住家ニ對シテハ一ヶ月三回ノ捕鼠器配置二回ノ殺鼠劑ヲ配布ス
 - (ロ)、隣接地域及(ハ)第一項倉庫地域
 - 倉庫ニ對シテハ一ヶ月一回ノ殺鼠劑配布及二回ノ捕鼠器配置ヲ爲ス

- 三、除鼠班ノ組織
 - 吏員一人人夫一人ヲ以テ一班トシ十七班ヲ編成シ各班ニ巡查一人ヲ附ス
- 四、除鼠作業

除鼠作業區域及期間 自六月二十七日 至七月二十六日

警 察 署 名	施 行 月 日	施 行 期 間	作 業 ノ 種 類	施 行 區 域
築 港 署	自六月廿七日 至六月三十日	三日	捕鼠器配置	築港署管内天保山運河沿岸及其以西ヲ除ク 恩加島町千島町方面但シ松ノ鼻渡ヨリ北港大橋ニ至ル線ヨリ以西(磯邊橋ヲ除ク)
朝 日 署	七月二日	一日	"	(イ)三軒家濱通今木町及其附近 (ロ)千島町小林町及其附近
新 井 署	七月三日	一日	"	(イ)堀江方面長堀川西道頓堀川間西横堀川木津川間ノ要警戒地域 (ロ)立賣堀南通河岸倉庫地帯及其附近等町自二丁目至五丁目沿岸地帯及其附近
泉 町 署	七月四日	一日	"	(イ)安治川上通下福島及其附近 (ロ)堂島濱通及日本紡績周圍並其附近
朝 日 署	七月五日	一日	"	(イ)中ノ島一團(但一、二丁目ヲ除ク) 土佐堀及其附近 (ロ)富島町及其附近 (イ)梅田驛附近
高 津 署	七月六日	一日	"	(ロ)池田町合同紡績周圍部及其附近浪花橋北詰倉庫地帯 賑町瓦屋町及附近
天 會 署	七月七日	一日	殺鼠劑配付	捕鼠器配付ノ區域ニ同シ
天 會 署	七月九日	一日	"	"
朝 日 署	七月十日	一日	"	"
泉 町 署	七月十一日	一日	"	"
新 井 署	七月十二日	一日	"	"
川 崎 署	七月十三日	一日	"	"
天 會 署	七月十四日	一日	"	"
高 津 署	七月十六日	一日	捕鼠器配置	前回ニ同シ
朝 日 署	自七月十七日 至七月十九日	三日	"	"
泉 町 署	七月二十日	一日	"	"
朝 日 署	七月廿一日	一日	"	"
新 井 署	七月廿三日	一日	"	"
川 崎 署	七月廿四日	一日	"	"
蘇 州 署	七月二十五日	一日	"	東西日手町及稻荷町ト其附近

天會 根 滿 時 署	七月二十六日	一	前回ニ同シ
------------	--------	---	-------

備考 高津及難波署ハ同一班ヲ以テ毎月交互ニ作業ヲ行ヒ其ノ他ハ毎月捕鼠器二回殺鼠劑一回トス

右ノ外築港及櫻島沿岸地域ニ固定班三班ヲ置ク

七月二十七日以後十一月三十日ニ至ル施行豫定日ハ毎月之ヲ定メ反覆施行シタリ其成績左表ノ如シ

施 行 期 間	施 行 別	除 鼠 成 績
自四月一日 至十一月三十日	捕 鼠	一〇三、九四二
	倉 庫	一一、〇三三
	船 庫	一、五三八
	蒐 集	九、七五七
	投 藥	二九、九三三
計		一五七、二〇三
自六月二十四日 至十一月十六日	合 計	一七〇、九三三

倉庫防鼠設備督勵成績 (十一月三十日迄ノ分)

沿 岸 地 域	棟 數	防鼠設備ヲ命シタル棟數	配 置 數	新 修 設 理	防 鼠 設 備				防鼠設備ニ要シタル 費				
					鼠 返 地 盤	下水溝 蓋金網	金 網	壁 體					
築 港	一五七	一五七	二、一八五	新 修 設 理	五五二	八二	一、〇六一	一四〇	四九	三九五	二〇八	一、八二三	一六、九九八、八三〇

第一							隣接地			岸地	
川口	市岡	新町	天満	福島	曾根崎	計	朝日橋	築港	計	朝日橋	
九條	川口	市岡	新町	天満	福島	曾根崎	計	朝日橋	築港	計	朝日橋
一七	二六三	八	八七	一五	九〇	二〇	一三三	四〇	九二	二〇三	四六
一七	二六二	八	八七	一五	九〇	二〇	一二七	四〇	八七	一九九	四二
三〇〇	三、六三七	一六〇	九五〇	一四五	九〇二	二二三	一、二九〇	三八〇	九一〇	二、四八五	三〇〇
新設	新設	新設	新設	新設	新設	新設	新設	新設	新設	新設	新設
一、九五四	七七〇	一、〇四七	一七六	二二〇	一七六	一八二	三九〇	九八	三七四	七二五	一〇九
一、九五四	一、六七八	二〇	五	五三	一	二七九	二七九	八六	一九三	一、〇六一	一七三
二二	一七	三三	六	一〇	三	三〇	四八	五	三〇	一四〇	一八
五〇	二二五	七四	一八	六三	二	七〇	一九三	二二	三五	七二	二七
一七	二六〇	二八二	二九	一五	二〇	二二	一五五	一四	一四一	四七八	八三
一三	二九	二八二	九	一〇	五	一九	一九	一九	一九	二四〇	三二
一六二	八八三	四〇	四一	一五二	一九	七〇	一、〇八四	一四四	九四〇	一、九八三	一六〇
八八	九四四	四一	四一	九七	一九	二四七	二四七	九八	一四九	九四九	二〇〇
四二八、一〇〇	四、四〇八、六四〇	一四八、〇〇〇	三八六、三一〇	一、三三〇、〇〇〇	一、三三〇、〇〇〇	五二〇、〇〇〇	一、九六六、九六〇	五八六、〇〇〇	一、三八〇、九六〇	一七、四四八、八三〇	四、五〇〇、〇〇〇

合計	庫			計	計	計	計	計	計									
	泉尾	芦原	難波															
九二九	五九四	六九	一七	八	九〇六	五八〇	七、二三九	一一、〇一四	新設	七七〇	一、六七八	一三三	一九八	六〇九	一、一〇二	六〇七	四、八七二	二九、七四六、八四〇
九〇六	五八〇	五六	一七	八	一一、〇一四	七、二三九	一一、〇一四	七、二三九	新設	一、〇四七	二〇	二八	五〇二	四一	二九	一、六六七	一〇、三三一、〇五〇	△七、五〇〇、〇〇〇
九二九	五九四	六九	一七	八	九〇六	五八〇	七、二三九	一一、〇一四	新設	一、〇四七	二〇	二八	五〇二	四一	二九	一、六六七	一〇、三三一、〇五〇	△七、五〇〇、〇〇〇
九二九	五九四	六九	一七	八	九〇六	五八〇	七、二三九	一一、〇一四	新設	一、〇四七	二〇	二八	五〇二	四一	二九	一、六六七	一〇、三三一、〇五〇	△七、五〇〇、〇〇〇
九二九	五九四	六九	一七	八	九〇六	五八〇	七、二三九	一一、〇一四	新設	一、〇四七	二〇	二八	五〇二	四一	二九	一、六六七	一〇、三三一、〇五〇	△七、五〇〇、〇〇〇
九二九	五九四	六九	一七	八	九〇六	五八〇	七、二三九	一一、〇一四	新設	一、〇四七	二〇	二八	五〇二	四一	二九	一、六六七	一〇、三三一、〇五〇	△七、五〇〇、〇〇〇
九二九	五九四	六九	一七	八	九〇六	五八〇	七、二三九	一一、〇一四	新設	一、〇四七	二〇	二八	五〇二	四一	二九	一、六六七	一〇、三三一、〇五〇	△七、五〇〇、〇〇〇
九二九	五九四	六九	一七	八	九〇六	五八〇	七、二三九	一一、〇一四	新設	一、〇四七	二〇	二八	五〇二	四一	二九	一、六六七	一〇、三三一、〇五〇	△七、五〇〇、〇〇〇
九二九	五九四	六九	一七	八	九〇六	五八〇	七、二三九	一一、〇一四	新設	一、〇四七	二〇	二八	五〇二	四一	二九	一、六六七	一〇、三三一、〇五〇	△七、五〇〇、〇〇〇

備考 本表中細費中△却付シタルハ工事未済ノ倉庫六棟ニ對スル所要經費ニシテ認可申請中ノモノナリ

以上ノ外来殺其他雜穀商乾物商八百屋パン菓子製造業麴商等ニ對シ除鼠ヲ督勵シタル戸數三萬千八百四十五戸ナリ

十三、家畜傳染豫防ニ關スル件

一、狂犬病豫防

イ、野犬捕獲 本年ニ於ケル病犬發生ノ數ハ二百十九頭(大正十五年 昭和二年 三五九三頭)ニシテ被咬傷者三百九十三人恐水病患者四名ヲ出セル所ナルモ御大禮ニ關シテハ野犬掃蕩ノ爲常時捕獲班二班(一班巡查班)ヲ市部ニ設置シ毎月平均千二百頭内外ノ野犬ヲ捕獲整理郡ノ如キ京都府ニ接壤ノ地域ニハ隔月野犬捕獲ヲ爲スノ計畫ヲ立テ三郡各警察署一班ヲ新設シタリ其成績左ノ如シ

- 一市部野犬捕獲數 一四五四一頭
- 一三島、北河内、豊能各郡内捕獲數 五四三頭
- 計 一五〇八四頭

ロ、豫防注射 犬ニ對スル豫防注射ハ定期、常時、臨時注射ノ三方法ニ依リ定期豫防注射ハ告示ヲ以テ場所及期日ヲ指定シ

テ之ヲ行ヒ常時注射ハ府廳内ニ常設シテ之ヲ行ヒ更ニ必要ト認ムル場合ニ臨時注射ヲ行フ而シテ人ニ對スル豫防注射ハ府廳内細菌室及堺警察署内ニ常設シテ之ヲ施行シツ、アリ其成績左ノ如シ

- 一、豫防接種人員 三九六一人
- 一、豫防接種犬頭數 二二三六九頭
- 一、非狂犬檢診數 三九二二頭
- 一、被咬傷者人員 三八一三人

ハ、狂犬病豫防週間 農林省ノ通牒ニ基キ本年七月一日ヨリ七日ニ至ル七日間及十月一日ヨリ七日ニ至ル七日間ヲ狂犬病豫防週間ト定メ此期間内大小ボスター一萬枚ヲ各警察署市役所學校等ニ配布スル外巡查派出所駐在所百貨店湯屋理髮店電車停留場其ノ他衆目ニ觸レ易キ場所ニ掲出セシメ一面衛生組合青年會處女會等ノ協力ヲ求メテ標語、數ハ歌、漫畫等ヲ印刷シタルビラヲ配布シ又一面パンフレットヲ中等學校、小學校等ニ配布スルト共ニ生徒、兒童ニ講話ヲ依囑シ新聞紙ニハ狂犬ニ關スル一般智識及之カ豫防方法人畜被毒統計並豫防週間實施ノ趣旨等ヲ掲載シテ週間實施ヲ一般ニ徹底セシメ又ラジオヲ放送シ更ニ警察官吏ヲシテ學校公園其他多衆集合ノ場所ニ於テ講演ヲ爲サシメ以テ豫防思想ノ啓發誘導ニ努メ一面劇場活動寫真館等ニ於テ演藝ヲ利用シテ宣傳ヲ爲サシムル等極力之カ徹底ニ努ムルト共ニ警察署ヲシテ畜犬ノ整理飼犬ノ緊留ヲ勵行セシメタル外野犬ノ買上ケヲ爲サシメ更ニ市部ニハ野犬捕獲班四班郡部ハ各署ニ一班(捕獲作業一日間)ヲ配置シテ犬ニ野犬ヲ捕獲シ又豫防注射ノ爲技術員一名乃至二名ヲ以テ一班トシタル注射班五班ヲ組織シ府下一圓ノ注射洩飼犬ニ對シ注射ヲ施行シタリ其成績左ノ如シ

- 一、買上犬頭數 八一七三頭
- 一、捕獲犬頭數 一三三〇頭
- 一、豫防注射施行頭數 六二四二頭

二、炭疽豫防

客年十月衛第一一八一八號ヲ以テ府下各警察署長ニ對シ斃死牛馬アリタルトキハ即報セシムルコトシ之ニ對シ檢案ノ結果炭疽牛ヲ發見シタルコト數次アリ本年一月以降檢診ノ結果二十九頭ノ炭疽牛ヲ發見シタリ之ニ對スル豫防措置トシテハ發生地附近ノ牛馬豚ニ對シ豫防注射ヲ施行スル外家畜檢病調査ヲ爲シテ發見ニ努メ尙十月十二日ヨリ十一月末日ニ至ル間從來發生シタル場所ヲ中心トシ危險區域ト認ムル範圍内ノ乳牛役牛及馬豚ヲ檢診シ以テ之カ豫防ニ努ムル所アリ其成績左ノ如シ

- 一、檢診頭數 四七二二頭
- 一、斃死牛馬豚頭數 一九八頭
- 一、炭疽豫防注射頭數 一〇六二頭
- 一、家畜檢病調査頭數 三八〇七頭

十四、畜牛結核病豫防ニ關スル件

府下ニ於ケル檢査ヲ要スヘキ乳牛頭數ハ三千三百十四頭ニシテ之カ檢査ハ技師一名助手二名ヲ以テ之ニ當ラシメ年内ヲ通シテ之ヲ行ハシム本年四月ヨリ十一月ニ至ル間檢査上發見シタルハ輕症牛十六頭疑症牛九頭及重症牛一頭ナリ而シテ京都府隣接地域ニ於テ檢査シタルハ三百八十頭ニシテ之ニ對シ輕症牛及疑症牛各一頭ヲ發見シタリ

十五、救護ニ關スル件

今回御舉行アラセラルル御大禮ニ付曠古ノ御盛儀ヲ拜觀センカ爲京都市其他ノ行幸啓地、往復スル者多カルヘク從テ大阪市内汽車電車ノ發着場所ハ多人數ノ昇降アルハ素ヨリ奉祝ノ爲各種催物ノ企テアルヲ以テ公園盛場其他等ニ於テ雜沓ヲ極メ爲ニ不慮ノ傷病者ヲ出サンモ計リ難ケレハ當府ハ大阪府役所、大阪市醫師會、大阪府衛生會及日本赤十字社大阪支部ト協議シ御大禮期間中左記ノ編成ニ依ル救護班ヲ大阪驛外十六ヶ所ニ二十八班(大阪府十一班、大阪府役所四班、大阪市醫師會六班、大阪府衛生會三班、日本赤十字社大阪支部四班)ヲ組織シ左記ノ場所ニ配置シ晝夜其部署ニ於テ傷病者救護ノコトニ努メタリ因ニ當府救護班ノ組織ニ方リ大阪府看護婦組合ハ無償ニテ看護ノ勞ニ服センコトヲ申出テタルヲ以テ之ニ採納セシカ同會ハ一日二十二人員百二人ノ看護婦ヲ出動セシメ以テ本事業ノ遂行ヲ幫ケタルハ多トスヘキナリ救護ノ成績左表ノ如シ

衛生及病院費

衛生及病院費	一九、八〇〇・〇〇
衛生諸費	一九、八〇〇・〇〇
傳染病豫防費	一、三八〇・〇〇
家畜傳染病豫防費	一一、一三二・〇〇
傷病者救護費	四、三九四・〇〇
	三、八九四・〇〇

金額

二、御大禮ニ關シ衛生關係職員配置左ノ如シ

衛生課長 國澤健雄	保健係	六〇名
	醫務係	一九名
	防疫係	一八二名
各警察署衛生事務關係官吏		二二三名
		四八四名

(4) 神奈川県

御大禮衛生事務ニ就テハ其ノ敏活周到ナル處理ト統一トヲ期スル爲之ヲ總務部及第一乃至第十一部ニ分掌シ警察部長總指揮ノ下ニ福田衛生課長ヲ主任トシ施行セルカ其ノ施設及成績次ノ如シ
 總務部ニハ特記スヘキモノナシ

第一 郡

一、飲料水ニ關スル件

水道條例ニ依ル水道（横浜市、横須賀市、川崎縣、秦野町、戸塚町、中野町、元箱根村、北足柄村、西秦野村、松田町、強羅水道、江ノ島水道、橘樹水道）及簡易水道布設地ニ對シテハ上水道水使用ヲ勸奨シ必要ノ個所ニハ共用栓ノ増設ヲナサシムル等之レカ普及ヲ圖リ一方水道水源及水質ノ保護ニ留意セシメ且ツ其ノ水質試験ヲ勵行シ飲用井ニ對シテモ其ノ井側、流シ場等ノ構造ニ注意セシメ不完全ナルモノニハ相當修理ヲナサシメ且ツ治ク唧筒裝置ヲ勸奨シ一方之レカ必要ニ應シ水質試験ヲ施行セリ
 其ノ成績左ノ如シ

水質試験成績

種別	試験總數	試験成績	
		飲料適	飲料不適
上水道及簡易水道水	五二	四四	八
井水	七五	四九	二六

尙觀經式直前横浜市水道、横須賀市水道、及川崎市水道ニ對シ水源取入ヨリ濾過池等ノ設備及ヒ水質ノ検査ヲナサシメ特ニ横浜市水道ニ於テハ前三日巡視員夜警等ヲ倍加取締上ノ完全ヲ期シタリ

二、清涼飲料水製造所並販賣店ニ關スル件

清涼飲料水製造業者ニ對シテハ瓦斯發生器ヨリ除害器、混合機、攪拌器、水濾器、糖濾過機等諸設備ヲ始メ其ノ製造原料タル香料、砂糖著色劑酸味劑ノ検査ヲ勵行シ且ツ從業者ノ健康狀態ニ付注意ヲ促シ製品ニ對シテハ製造場ナルト販賣店トヲ問ハス一齊ニ沈澱濁濁及異物混入ノ有無ヲ檢シ又内容品ニ就テハ防腐劑、人工甘味質有害性著色劑鹽酸類ノ有無等化學試驗ヲ勵行シ以テ衛生上ノ完璧ヲ期シタリ

清涼飲料水製造業者検査成績

營業者數	検査數	検査ノ上注意ヲ與ヘタルモノ	
		製造場	製造用具
七八	一八五	一八	二
			一三

清涼飲料水検査成績

サイダー類	ラムネ類	礦泉類	果實糖類	果實水類	計
検査總數	検査總數	検査總數	検査總數	検査總數	検査總數
五八、四五一	二〇、五九一	四、四九六	四、三八二	二〇八	九〇、四三八
否	否	否	否	否	否
一、八六一	一、六二〇	一二六	四、三八二	二、五一八	四、三七〇

三、衛生上取締ヲ要スル飲食物營業者取締ニ關スル件

飲食物營業者ニ對シテハ左記ニヨリ物品ノ試験検査ヲ始メ一般飲食物取扱上ノ注意調理場其他清潔保持並從業者ノ健康狀態ニ注意シ衛生上遂算ナキヲ期シタリ

- 一、一般飲食物ニ就テハ品質ノ精選ハ勿論之レカ貯藏ニ就テモ防塵防蟻ノ設備ヲナサシメ且ツ其ノ臨檢検査ヲ勵行シ別紙ノ如キ成績ヲ見タリ
- 一、飲食物用器具ハ使用ノ都度洗滌シ清潔ナラシムルハ勿論其ノ品質ニ就キ鍍錫ノ良否著色料ノ害否検査ヲ施行セリ

一、飲食物調理所ニ就テハ採光換氣ハ勿論荷シクモ衛生的設備ニシテ不完全ナルハ改善ヲ促シ且ツ飲食物覆蓋ヲ整備セシメ塵芥昆蟲ノ付着ヲ防止シ汚物ノ搬出ニ留意シ場内清潔保持ニ努メシメ遺憾ナキヲ期シタリ

一、御大禮ニ關スル汽車沿線各驛飲食物取締行幸啓及御還幸前横濱、大船、國府津、山北各驛飲食物調理場ニツキ飲食物用器具、容器其他ノ衛生的検査ヲ施行シ且ツ牛乳、其他販賣品中主要飲食物ノ衛生試験ヲ施行セリ

一、地方賜價ニ關スル件

地方賜價御調理ニ當リテハ之レカ調理者タル四戸ニ付調理場内諸設備ノ検査ヲ始メ飲食物用器具、容器、並所要原料品ノ衛生試験ヲ施行シ且ツ調理時ハ各戸ニ技術員ヲ派シ終始之レガ監督ヲナサシメ遺憾ナキヲ期シタリ

原料品試験成績

品名	試験要項	判決
清酒	防腐劑、木精、其他有害物ヲ認メス	適
味淋	防腐劑、人工甘味質、木精其他有害物ヲ認メス	適
醬油	防腐劑、同甘味質、著色料其他有害物ヲ認メス	適
酢	碳酸、防腐劑、著色料其他有害物ヲ認メス	適
昆布	有異物、著色料其他有害物ヲ認メス	適
竹輪	防腐劑、人工甘味質其他有害物ヲ認メス	適
鍍錫鍋	飲食物用器具取締規則ニ抵觸セス	適

飲食物衛生試験成績

検査總數	防腐劑	人工甘味質	飲食物器具	著色料	木精	清涼飲料水	清涼飲料水原料	氷	雪	其他ノ飲食物	合計
三、九〇五	七三〇	三一	四四〇	一〇一	二九五	八一	四一	一三	五、六三七		

不適數	三四	一二	七	九	三	六五
不適數百分率	〇、八六	一、六四	二二、五八	二、〇五	七、三一	一、一五

牛乳試驗成績

試驗數	一、八四〇	一二九	七〇一	七五	四、〇七	五四	二、九四
不適品發見數							
不適品%							
比重過高							
比重低シ							
比重不適%							
脂肪量不足							
脂肪不足%							

飲食物ニ關スル臨檢個所數 自四月至十一月每月施行

旅館	料理店	飲食店	販賣店	酒店	菓子店	陶磁器店	金物店	待合	貸座敷	氷水營業	其ノ他	合計
總數	總數	總數	總數	總數	總數	總數	總數	總數	總數	總數	總數	總數
否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否
六五	八二	二七	二、七八	一、四	二〇	一	一	三	一	二四	三	六二

飲食物用器具ニ關スル臨檢個所數 自四月至十一月每月施行

旅館	料理店	飲食店	販賣店	酒店	菓子店	陶磁器店	金物店	待合	貸座敷	氷水營業	其ノ他	合計
總數	總數	總數	總數	總數	總數	總數	總數	總數	總數	總數	總數	總數
否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否
六五	八二	二七	二、七八	一、四	二〇	一	一	三	一	二四	三	六二

四、汚物掃除ニ關スル件

街路、河川、溝渠及下水溝等ノ清掃、浚渫、改修ニ關シテハ常ニ當該市町村又ハ衛生組合若クハ個人ヲシテ之ヲ施行セシメ各戸ヨリ排出スル塵芥ノ搬出ニ就テハ常該吏員ヲ督勵シ實施上遺憾ナキヲ期セシメタリ

衛生組合其他ノ團體ヲ督勵シ各戸ニ完全ナル塵芥容器ノ備付ヲ勵行セシメ破損セルモノ、覆蓋ナキモノハ速ニ改修ヲ爲サシメ

尙一面塵芥容器ノ改善ヲ指導スル必要ヲ認メ本年七月懸賞募集ヲ發表シ應募セル容器五十種ニ就キ特ニ審査員ヲ設置シ左記各號ヲ標準トシテ審査ノ結果二等三種選外優良五種ヲ選定シ二等金貳拾圓三等金拾圓選外金五圓宛ヲ授與シ之ヲ表彰シ去ル九月二十七日ヨリ三日間本縣第二衛生試驗場内ニ陳列シ關係當事者ノ縦覽ニ供シタル等之カ改善指導ニ努メタリ

審査標準

- 一、各戸ニ於テ塵芥ノ蒐集ニ便利ナルコト
- 二、掃除夫ノ塵芥搬出ニ便利ナルコト
- 三、容器ノ型體ハ市街ノ美觀ヲ損セサルモノタルコト
- 四、堅牢ニシテ耐久力ニ富ミ且修繕簡易ナルモノ
- 五、價格比較的低廉ナルモノ
- 六、衛生ニ適スルモノナルコト

塵芥處分ニ關シテハ燒却及埋却ノ二方法ニシテ現時鎌倉、葉山、浦賀ノ三ヶ町ハ全部横濱市ニアリテハ一部分ヲ燒却ニ付シ其他ノ市町村ニアリテハ何レモ低地ノ埋却ニ付シ、アル現況ナルヲ以テ塵芥燒却場及同捨場ヲ設備セシムルノ必要ヲ認メ之カ施設ヲ督勵シタル結果該建設ヲ爲シタルモノ又ハ建設工事中ノモノ若クハ建設認可申請ノ市町村左ノ如シ

- 一、浦賀町ニ於テハ豫算金六千五百圓ヲ要シ本年十月二十日建設工事故功セリ
 - 二、横濱市ニ於テハ豫算金五十八萬壹千五百圓ヲ計上シ目下建設工事中ナリ
 - 三、川崎市ニ於テハ豫算金五萬圓湯本町ハ豫算金四千五百圓ヲ計上シ建設認可ヲ申請セリ
 - 四、厚木町、逗子町ニ於テハ建設計畫中ナリ
- 塵芥取扱場及同捨場ヲ認可シタル市町村左ノ如シ
- 一、横須賀市 茅ヶ崎町 秦野町

現時管下ニ於テ汚物掃除法ヲ施行ノ市及同法ヲ準用指定シタル町村左表ノ如シ

市町村名	實施戸數	同上人口	監視吏員	市町村名	實施戸數	同上人口	監視吏員
横濱	一一八、二六九	五一四、五八〇	三八	藤澤	四、一一四	二一、五六一	三
横須賀	一七、五〇〇	七四、三三九	一一	茅ヶ崎	二、六六〇	一四、六三〇	三
川崎	一六、五一五	七八、一六〇	八	平塚	三、九五〇	一九、七五〇	三
鎌倉	一、〇一五	五、〇七五	三	磯原	一、六〇一	九、八七〇	三
藤沢	四、三六四	一五、八八七	三	大磯	一、二〇〇	五、二〇〇	三
津	八八〇	四、四〇〇	三	厚木	五九七	二、九八二	三
越前	二四〇	一、二〇〇	三	伊勢原	一、八七〇	九、三五〇	三
川口	二、七〇〇	一、二、五〇〇	三	松野	六〇〇	三、〇〇〇	三
逗子	三、四八六	一八、〇〇〇	四	小田	五、五九二	二七、〇〇〇	五
田浦	一、六六八	八、三四〇	四	原	八〇〇	四、〇〇〇	三
浦賀	一、四四五	七、四九〇	三	津	三九七	二、一八三	三
三浦	一、一四五	五、六一〇	三	本	一五〇	九七五	三
三山				泉			

五、水槽便所取締ニ關スル件

水槽便所取締ニ就テハ之レカ取締ノ必要ヲ認メ本年三月縣令ヲ以テ之レカ取締規則ヲ定メ其ノ既設ト新設トヲ問ハス常ニ實況ニ注意シ取締ヲ勵行シ構造設備不完全ノモノニ對シテハ速ニ改善セシメ殊ニ消毒ノ勵行ニ努メタリ而シテ之レカ調査數ハ一九三三件内構造設置ノ規程ニ適合セルモノ一三三件ヲ算セリ

水槽便所調査數	適數	汚水試験數	適數
一九三	一三二	五一	七

備考 水槽便所ノ放流汚水ノ消毒ハ汚水十萬分ニ對シ一、五分乃至六分ノ「クローカルキ」ヲ使用セリ

六、食品市場取締ニ關スル件

食品市場ニ對シテハ常ニ建築物ノ構造地盤、下水溝等衛生的設備ノ改善ヲ促シ横濱市中區港町食品市場其ノ他ニ於テハ地盤ノ破損及下水ノ疏通不良ナルヲ認メ之カ改善ヲ督勵シタル結果何レモ適當ノ改善ヲ施スニ至レリ市場内ニ於ケル日々ノ掃除ハ各市場共其ノ従業者ヲシテ之ニ從事セシメ塵芥ハ常人夫ヲシテ市町村ノ塵芥處理場若ハ無害ノ場所ニ搬出セシメ魚骨等ノ汚物ハ各其ノ特約人ヲシテ化製場其ノ他ノ場所ニ移送シ適當ニ處置セシメ又汚水ノ疏通ニ支障ナカラシムル爲テニ毎月三回下水溝ノ浚渫ヲ爲サシムル等市場内ノ清掃ニ努メシメタリ、食品及品質ノ監督ハ隨時當該吏員ヲシテ食品取締關係法令ヲ勵行スル様嚴重ニ監視セシメ一面營業者ニ懸示シテ品質ノ不良ト認ムル物品ヲ販賣セサルコトノ良慣習ヲ獎勵セシメ水道水布設地ノ市場ニアリテハ水道水ヲ其ノ他ニアリテハ善良ナル水ヲ使用セシメ井戸ニハ汚水汚物及塵芥等ノ侵入防止ノ設備ヲ爲サシメ且啣筒裝置ヲ勸奨シ之カ改善ヲ促シタリ市場内ニ於ケル便所ハ特ニ清潔ヲ保持セシメ時々防臭劑ヲ撒布セシメ屎尿ハ特約人ヲシテ充溢セサル様汲取ラシムルコトニ注意セシメタリ管内ニ於ケル食品市場數ハ横濱四、横須賀三、川崎二、鎌倉四等計四十八ナリ

右從事職員ハ多田技師外十名ナリ

第二部

一、海港防疫施設ニ關スル件

本件ニ關シ昭和三年六月一日當廳ニ於テ内務省衛生局縣市衛生課横濱稅關港務部横濱川崎市內各警察署衛生主任會合ノ上協議會ヲ開催シ該施設中ベスト防疫ニ關シ左記ノ如ク協定シ更ニ六月十三日外來貨物ヲ第一次ニ收納スル倉庫所有者二十名ヲ當廳ニ召集シ實行方法ヲ協議シ六月十三日ヨリ左記ノ方法ニ從ヒ倉庫ノ取締ヲ嚴重ニシ防鼠及除鼠ノ勵行ヲナセリ

イ、倉庫ノ防鼠設備
外來貨物ヲ收納スル倉庫ニシテ稅關構外ニアルモノヲ準沿岸倉庫ト命名シ其ノ地域ヲ準沿岸地區トシ本縣ニ於テハ其地域ニ限

リ税關構内ノ取締ハ税關ニ委任ス

準沿岸倉庫ノ數

二四

同 棟 數

二二二棟

同 總坪 數

四三、五四三坪

右二二三棟ノ倉庫ヲ其ノ構造及設備ニヨリ便宜上左ノ三階級ニ別ツ

A級 外壁床等カ石煉瓦コンクリート等ノ防鼠材料ニテ築造セラレ鼠ノ棲息殆ントナク且ツ戸扉ヲ閉シタル時鼠ノ出入全ク不可能ナルモノ

B級 外壁カ前記防鼠材料ナルモ床ハ土間又ハ板張りニテ通常ノ場合ハ鼠ノ交通不可能ナルモ建物古クシテ鼠ノ棲息且ツ處々ニ鼠交通ノ穴アル如キモノ

C級 外壁及床非防鼠材料ニテ建物古ク小修繕ヲスルモ常時到底鼠ノ交通ヲ絶ツ事不可能ナル如キモノ
右ノ條ニ從ヒ準沿岸倉庫ヲ左ノ如ク區分セリ

A 級 倉 庫 一七四棟
B 級 倉 庫 四一棟
C 級 倉 庫 五棟

計

二二〇棟

右倉庫ニ對シ左記ノ防鼠設備ヲナサシム

- 一、戸扉窓土臺廻リ其他破損等ニ依リ鼠ノ交通シ得ル如キ場所ハ完全ニ修理スル事
- 二、内部地盤カ非防鼠材料ナルトキハコンクリート漆喰叩キ其他ノ防鼠材料ニ改ムルヲ理想トスルモ止ムヲ得サルトキハ板張りナレハ腐朽部其他荷クモ鼠ノ交通スル穴ヲ造ラル、處アル部分ヲ完全ニ修葺シ土間ナレハ厚サ凡ソ一間前後ニ小石砂利ノ類ヲ敷クカ止ムナクハ鼠穴ヲ搜索シ砂利ノ類ニテ充分填塞スルコト

- 三、外壁カ非防鼠材料トナルトキハ地上凡ソ三尺地下二尺ヲ防鼠材料トスルカ或ハ亞鉛板ヲ圍繞及埋没スルコト但シ内部地盤カ「コンクリート」「アスファルト」煉瓦等ニテ鼠ノ潜入不可能ナルモノハ地上部ノ亞鉛板張りノミニテ可ナリ
以上ノ倉庫ニシテ近ク改造ノ豫定アルモノハ單ニ除鼠施設ヲ勵行シテ代ラシムル事ヲ得
- 四、外壁ノ戸扉カ完全ニ閉鎖セラレ又ハ其ノ他ノ狀況ニテ鼠ノ潜入シ得サル設備アルモノ、外ハ鼠返ヲ設備セシムル事
- 五、鼠返シハ成ヘク兩柱間ニ嵌挿スル式トシ外ニ對シテ六〇度前後ノ角度ヲ保チ高サ二尺五寸トシ外面ハ金屬板ニテ滑澤ナルモノトスル事

六、鼠返シハ夜間ハ勿論晝間ト雖モ入口使用時ノ外ハ常時之ヲ嵌挿シ置ク事

七、夜間荷役ノ際ハ荷役中強力ナル燈光ヲ以テ其入口ヲ照射スルコト

右ノ如キ方法ニヨリ不完全ナル箇所ハ改造ヲ命シ防鼠設備ヲ勵行セシメタルニ現今ノ倉庫現況左ノ如シ

A 級 倉 庫 一七七棟
B 級 倉 庫 四七棟
C 級 倉 庫 八棟

計

二二二棟

總 坪 數 四三、五四三坪

ロ、防鼠ノ施設

準沿岸倉庫並ニ其附近不良護岸ニ對シ殺鼠劑ヲ調製シテ各倉庫業者ニ配付セシメ尙捕鼠器ノ配置ヲ勵行シ傍ラ懸賞ヲ附シテ新案捕鼠方法並捕鼠器ヲ一般ヨリ募集シテ其範タルモノヲ示シ一層研究ニ努メシメ除鼠ヲ勵行セリ

A 級倉庫ニ對シテハ殺鼠劑月一回捕鼠器月一回以上

B 級 同 同 月二回同 月二回以上

C 級 同 同 月二回同 月二回以上